

## 2020年 横浜市 HIV 感染者・エイズ患者の動向

### 1 HIV感染者・エイズ患者の報告数と相談・検査件数

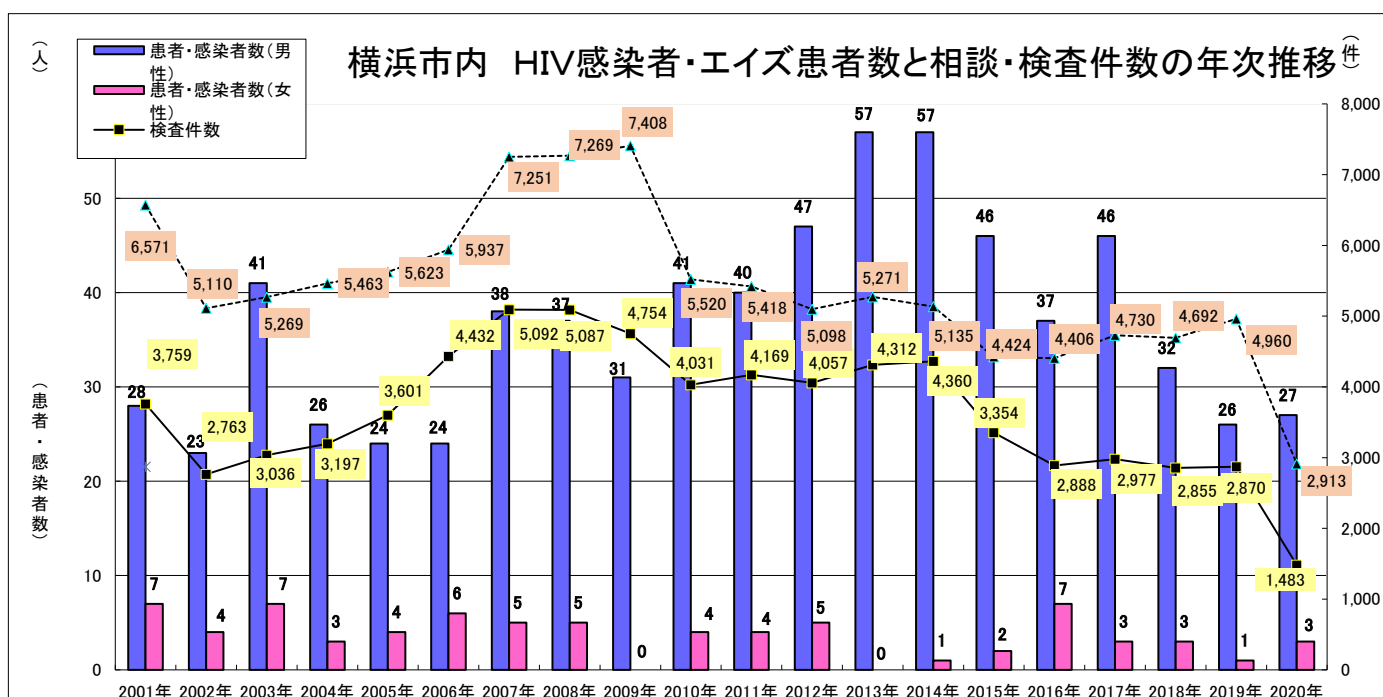
2020年に本市に新たに報告された「HIV感染者」は19件のうち男性16件（84.2%）、女性3件（15.8%）、「エイズ患者」は11件のうち男性11件、女性0件であった。総数では30件であった。

(注) 「HIV感染者」とは、HIV（ヒト免疫不全ウイルス）に感染しているが、エイズを発症していない状態で報告されたもの  
「エイズ患者」とは、エイズと診断されて報告されたもの

2020年の本市のHIV検査・相談事業の実施総数は相談が2,913件、検査が1,483件であった。新型コロナウイルス感染症の流行に伴う緊急事態宣言の対応等により、前年と比較して相談数、検査数ともに減少した。

検査の実施施設別にみると各区福祉保健センター431件（29.1%）、夜間検査460件（31.0%）、土曜検査430件（29.0%）、日曜検査162件（10.9%）であり、全ての検査会場において受検者は減少した。

2020年のHIV検査の陽性者数は7件であり、前年と同数であった（陽性割合0.5%）。陽性者数を実施施設別にみると各区福祉保健センター2件、夜間検査3件、土曜検査0件、日曜検査2件であった。



	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
HIV感染者新規報告数	35	27	48	29	28	30	43	42	31	45	44	52	57	58	48	44	49	35	27	30
(うちAIDS患者)	(16)	(8)	(19)	(9)	(10)	(11)	(17)	(11)	(6)	(14)	(10)	(18)	(12)	(16)	(19)	(13)	(15)	(13)	(11)	(11)
男性	28	23	41	26	24	24	38	37	31	41	40	47	57	57	46	37	46	32	26	27
(うちAIDS患者)	(13)	(8)	(15)	(9)	(9)	(9)	(15)	(8)	(6)	(12)	(10)	(16)	(12)	(15)	(18)	(11)	(15)	(11)	(11)	(11)
女性	7	4	7	3	4	6	5	5	0	4	4	5	0	1	2	7	3	3	1	3
(うちAIDS患者)	(3)	(0)	(4)	(0)	(1)	(2)	(2)	(3)	(0)	(2)	(0)	(2)	(0)	(1)	(1)	(2)	(0)	(2)	(0)	(0)
相談数	6,571	5,110	5,269	5,463	5,623	5,937	7,251	7,269	7,408	5,520	5,418	5,098	5,271	5,135	4,424	4,406	4,730	4,692	4,960	2,913
検査数	3,759	2,763	3,036	3,197	3,601	4,432	5,092	5,087	4,754	4,031	4,169	4,057	4,312	4,360	3,354	2,888	2,977	2,855	2,870	1,483
昼間	2,213	1,354	1,516	1,518	1,307	1,476	1,787	1,637	1,380	818	786	723	746	729	667	644	763	809	763	431
夜間	911	589	704	855	822	817	942	1,145	1,146	1,165	1,596	1,635	1,806	1,847	1,237	974	1,124	1,113	1,150	460
土曜	635	820	816	824	1,472	2,139	2,363	1,966	1,598	1,475	1,254	1,136	1,155	1,176	975	818	746	699	704	430
日曜	-	-	-	-	-	-	-	339	630	573	533	563	605	608	475	452	344	234	253	162

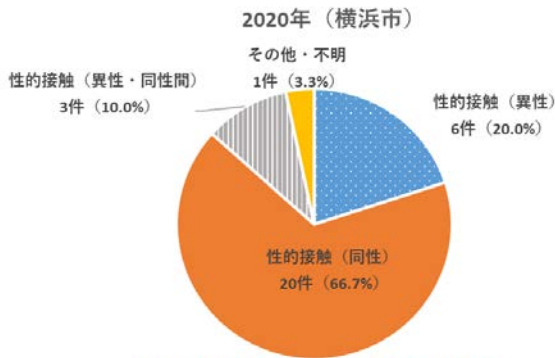
## 2 新規報告されたHIV感染者・エイズ患者の状況

2020年のHIV/エイズの推定感染経路別にみた報告数は、性的接触（同性）が20件（66.7%）で最も多く、次いで性的接触（異性）が6件（20.0%）、性的接触（異性・同性）が3件（10.0%）、その他・不明が1件（3.3%）であった（図1）。

年齢区分別報告数は、HIV感染者は20歳代、エイズ患者は30歳代が最も多かった。（図2）

推定感染地域別では国内が26件（86.7%）、国外が3件（10.0%）、不明が1件（3.3%）であった。（図3）

図1. HIV感染者・エイズ患者の推定感染経路別割合



患者の大多数が性的接触で感染しています

図2. HIV感染者・エイズ患者の年齢別区分別

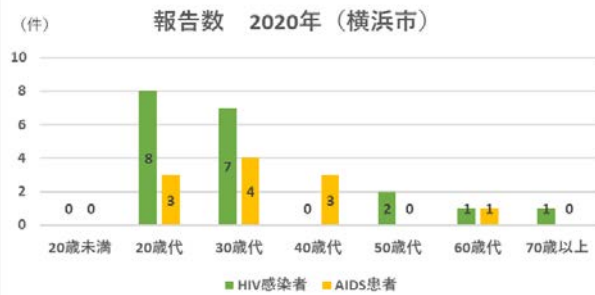
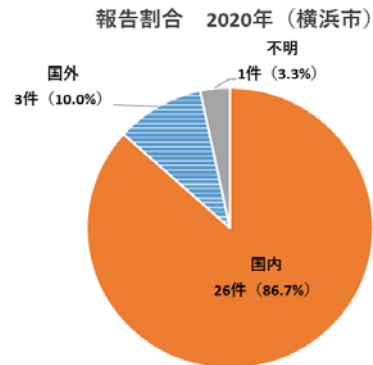


図3. HIV感染者・エイズ患者の推定感染地域別



横浜市AIDS市民活動センター  
マスコット「コムちゃん」



## 3 梅毒の状況

2020年に本市に報告された梅毒患者は109件で、うち男性78件（71.6%）、女性31件（28.4%）と前年より8件減少した（前年比93.2%）。梅毒は近年全国的に報告数が多く、本市でも2016年以降報告の多い状態が続いている。（図4）

男女別、年齢別では男性、女性ともに20歳代が多く報告された。（図5）

病期別では、早期顕症梅毒Ⅰ期42件（38.5%）、Ⅱ期27件（24.8%）、晚期顕症梅毒4件（3.7%）等の有症状で診断されているが、無症状36件（33.0%）の報告もみられた。（図6）

図4. 梅毒患者数男女別の年次推移

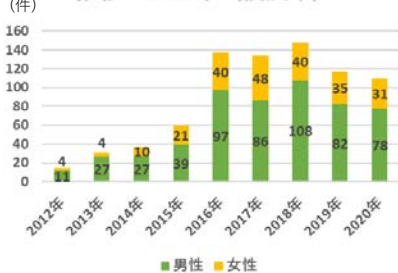


図5. 梅毒患者男女別年齢区分別

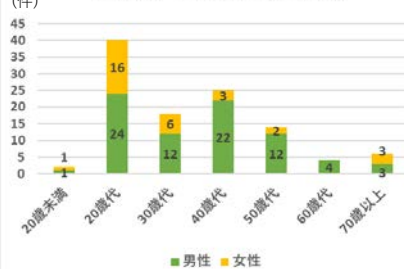
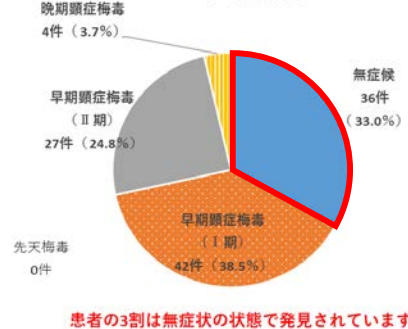


図6. 梅毒患者の病期別割合



患者の3割は無症状の状態で見られています